

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●大阪杯はベラジオオペラが優勝

3月31日(日)に行われた大阪杯(G I)ではベラジオオペラ(牡4歳/栗東・上村洋行厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。同馬を管理する上村調教師にとっても初のG I制覇となります。

●藤岡康太騎手がJRA通算800勝を達成

3月30日(土)の2回阪神3日・第10レースとして行われたラジオ関西賞仲春特別ではタツダイヤモンドが1着となり、同馬に騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、史上58人目・現役27人目となるJRA通算800勝(1万745戦目)を達成しました。

●石神深道騎手がJRA初勝利をあげる

3月31日(日)の3回中山4日・第1レースではザロックが1着となり、同馬に騎乗した石神深道騎手(美浦・和田正一郎厩舎)は、JRA初勝利(21戦目)をあげました。

●大庭和弥騎手が引退

大庭和弥騎手(美浦・小手川準厩舎)が3月31日(日)付で引退しました。JRA通算成績は4308戦124勝で、今後は小手川準厩舎で調教助手となる予定です。

●レッドゼルとアフリカンゴールの競走馬登録抹消

2021年JBCスプリント(金沢・Jpn I)などの勝ち馬レッドゼル(牡8歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算20戦7勝・地方4戦2勝・海外3戦0勝)、2022年京都記念(G II)の勝ち馬アフリカンゴールド(騏9歳/栗東・西園正都厩舎/JRA通算40戦5勝)は、2月29日(木)までに競走馬登録を抹消されました。レッドゼルは北海道浦河町のイーストスタッドで種牡馬となり、アフリカンゴールドは阪神競馬場で乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●地元の伏兵ライトウォーリアが川崎記念(川崎)を逃げ切る

川崎記念(Jpn I、4月3日、川崎、2100m)は、逃げた7番人気の川崎所属馬ライトウォーリア(吉原寛人騎手=金沢、牡7歳、父マジスティックウォーリア)がグランブリッジの追撃をアタマ差振り切り、ダートグレード競走初制覇。アイコンテラーが3着に入り、ディクテオンは4着、単勝1.7倍で断然人気のセラフィックコールは5着、3番人気のノットゥルノは6着、2番人気のグロリアムンディは9着と、人気どころは凡走しています。

●兵庫女王盃(園田)でライオットガールが3度目の重賞制覇

兵庫女王盃(Jpn III、4月4日、園田、1870m)は、先手を取った3番人気のライオットガール(岩田望来騎手、牝4歳、父シニスターミニスター)が、2番人気のアートルアストレアに2馬身差を付けて完勝。1番人気に推されたサマルソアリングは更に3馬身遅れの3着、ヴィブラフォンは5着でした。

●令和5年度の地方競馬の売上が過去最高に

令和5年度(2023年4月1日~2024年3月31日)の地方競馬の総売得金額は、前年度比101.7%の1兆888億6525万8120円となり、過去最高を記録しました。電話投票の構成比は約90%です。

●ティエムトッキュウらが参戦、4月10日の東京スプリント(大井)

東京スプリント(Jpn III、4月10日、大井、1200m)は、JRA所属馬はカペラSの覇者ティエムトッキュウ、アームズレイン、クロジジョー、ヘリオス、マルモリススペシャルの順に有力視されますが、リュウノユキナ(船橋)、ギャルダル(船橋)、ジャスティン(大井)、ギシギシ(大井)ら地方勢にも上位進出の可能性がります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ドバイワールドCデー~日本調教馬は1勝

現地3月30日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたドバイワールドCデーに今年は日本から22頭が7レースに出走。G 1での勝利はありませんでしたが、G 2 UAEダービー(3歳、ダート1900m)では坂井瑠星騎手を背にしたフォーエバーヤング(牡3歳、父リアルスティール、栗東・矢作芳人厩舎)が中団の外目追走から直線で鋭く伸びて2馬身差で優勝。デビューからの連勝を5に伸ばしました。日本調教馬はこれで2022年クラウンプライド、2023年デルマソトガケに続いてこのレース3連覇です。なお、この日のメインレースとなるG 1 ドバイワールドC(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、ダート2000m)は、T.オシェア騎手とのコンビで逃げたローレルリバー(牡6歳、父イントゥミスターフ、B.シーマー厩舎)が追い込んだウシュバテソーロに8馬身半差をつけて優勝。G 1初制覇を果たしました。ローレルリバーは2022年8月にアメリカのG 2 パットオブライエンS(ダート1400m)で重賞初制覇。しかしそこから直行する予定だった11月のG 1 B Cダートマイルで獣医師によるチェックで出走取消となり戦列から離れると、昨年にはUAEに移籍。復帰戦となった今年1月のG 3 アルシンドガスプリントは7着でしたが、続く前走3月のG 3 ブルジナハール(ダート1600m)を6馬身3/4差で完勝していました。